

答 申 書 (素案)

令和 8 年 月 日

春日部市水道事業運営審議会

令和8年 月 日

春日部市長 岩谷 一弘 様

春日部市水道事業運営審議会
会長 作山 康

春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）等の改定について（答申）

令和7年3月25日付春経発第797号にて諮問がありました標記の件について、審議を重ねた結果、結論に至りましたので、下記のとおり答申いたします。

記

（水道事業の現状と背景）

- ・春日部市水道事業は、昭和29年の給水開始以来、人口増加による水需要の増加に対応するため、これまで6期にわたる拡張事業を実施してきた。
- ・現在の給水人口は約22万9千人、普及率99.9%に達し、水道は健康で快適な市民生活や産業活動を支える重要なライフラインであり、将来にわたり安全で安定的な供給が求められている。
- ・平成30年3月に「春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）」を策定し、中長期視点で事業を推進中である。
- ・これまで、事業規模に見合った人員の適正配置や水道事業との組織統合などによる人員削減、また電力調達方法による経費の削減など経営努力を行ってきた。
- ・春日部市水道事業は、市民の負担軽減を考慮し、効率的な事業経営による経費節減や資金の活用を優先事項として、平成16年に水道料金を改定したのを最後に、約20年間料金改定を見送ってきた。

（直面する課題）

- ・人口減少や節水機器の普及、生活習慣の変化による水需要の減少が進むことで、今後も料金収入の増加は見込めない。

- ・管路の老朽化や耐震化対策費用の増加。
- ・施設の老朽化による更新費用の増加。
- ・県水受水費の値上げによる負担増加。
- ・物価高騰など社会情勢の変化による費用の増加。
- ・現行の計画では、社会情勢の変化に対応が追いつかないことから、経営戦略の改定が必要である。
- ・現行の「春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）」では、令和4年度に約20%の料金改定を検討していたものの、コロナの影響を考慮し改定を見送ったため、収入が十分確保できていない。

（審議会の対応）

- ・令和7年3月から令和8年1月の間に計8回、審議を実施してきた。
- ・意見集約の結果を答申として提出する。

1. 審議結果（結論）

- ・「春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定（案）」の内容は適切と判断する。
- ・「水道料金の改定」は必要と判断する。

2. 審議内容と意見集約

- ・水需要の動向や施設の状況、経営状況などから総合的に判断した結果、以下のとおりである。

（1）春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）の改定について

① 投資計画

- ・老朽化、耐震化対応のため管路更新率目標を1.5%に設定する。
- ・浄水場設備の計画的な更新が重要であり、西部浄水場に続き、庄和浄水場の更新に取り組む。
- ・計画期間の後半には、東部浄水場の全体的な更新に着手する。
- ・将来の需要減少による料金収入の減少を踏まえ、南部浄水場や井戸水源の廃止により投資費用を抑制する。

② 財政計画

- ・以下の項目を財政目標とする。
 - i) 将来にわたって安定的に事業を継続する。
(収益的収支を黒字とする。)
 - ii) 水道料金収入によって毎年の営業活動に必要な費用が賄われている。
(料金回収率を100%以上とする。)
 - iii) 不測の事態等に対応可能な資金が確保されている。
(概ね1年分の給水収益を資金残高として確保する。)
- ・経営状況については、適宜評価を行い、必要に応じて適正な水道料金のあり方を検討すべきである。

（2）水道料金の改定について

① 改定時期

- ・現行の料金では令和8年度に収益的収支が赤字化し、令和12年度に運転資金が不足する見込みである。

- ・このことから、出来るだけ早い段階で水道料金の見直しが必要である。
- ・見直しにあたっては、市民への周知期間の確保や料金システムへの対応にかかる期間などを十分考慮することが重要である。

② 改定率

- ・10年間、健全な経営を維持する場合は、約70%以上の改定が必要である。
- ・市民負担の影響などを踏まえ、料金算定期間を5年間とした場合、約50%以上の改定が必要である。
- ・この場合、令和14年度（2032年度）には再び収益的収支が赤字化する見込みであることから、概ね5年後を目安として、再度、適正な水道料金のあり方について検討することで、段階的に見直しを行うものとする。

③ 基本料金・従量料金の割合

- ・今後の水需要減少に備え、基本料金割合の引き上げが適切である。
- ・今後の料金改定に際しても、引き続き従量料金に依存する体系の見直しを検討すべきである。

④ 基本水量制の廃止

- ・現在、基本水量（16立方メートル）内の利用者間の不公平が生じている。
- ・負担公平性確保のため、廃止が適切である。

⑤ 逡増制の緩和

- ・料金収入の大口利用者への依存は、経営に対する不安要素である。
- ・負担公平性や収益安定化の観点から、逡増制の緩和が適切である。

⑥ 基本料金引き上げ及び基本水量の廃止に伴う緩和措置

- ・基本料金の引き上げ及び基本水量の廃止に伴い、基本水量（16立方メートル）以内の少量利用者の大幅な負担増加に対しては一定の配慮が必要であり、緩和措置を講じるものとする。
- ・今後の料金改定に際しても、従量料金の単価設定には慎重な検討が必要である。

3. 附帯意見

- ・今回答申を行う改定率では、長期的な経営維持は困難であるため、今後の社会情勢を踏まえた中で、適宜見直しが必要である。
- ・今後は、水道ビジョン及び経営戦略の実績について定期的に評価し、目安としては中間年度となる令和12年度（2030年度）に検証を行い、必要に応じて見直しを実施するものとする。
- ・その際には、適正な水道料金のあり方についても検討が必要である。
- ・今後の施設更新のための資産維持費については、必要な分をしっかりと見込むことが望ましい。
- ・大規模な地震などの自然災害に備え、事業運営や復旧に要する手元資金を確保する必要がある。
- ・水道利用者の世代間の負担を平準化するため、更新工事等には最大限企業債を活用することが望ましい。
- ・ただし、過度の借り入れは後年度の負担増加に繋がるため、償還と借入のバランスを適切に図るものとする。

4. むすびに

- ・地震災害や老朽化に伴う事故などを踏まえると、水道供給の重要性が再認識できた。
- ・災害等に迅速に対応できるよう、十分な資金残高を確保することが望ましい。
- ・また、これまでのような資金に頼り過ぎた経営とならないよう留意することを期待する。
- ・答申内容に基づく適正な事業運営により、将来にわたって安全・安心な水道供給の持続が期待される。

参考1. 令和6、7年度 春日部市水道事業運営審議会 委員名簿

| 構成 | 氏名 | 所属団体等 | 委員区分 | 備考 |
|-----|--------|----------------------|------|-------|
| 委員 | 梅村 武尚 | 春日部市くらしの会 | 1号委員 | |
| 委員 | 齋藤 真衣子 | 一般公募 | 1号委員 | |
| 委員 | 中島 邦彦 | 春日部市自治会連合会 | 1号委員 | |
| 委員 | 二田 景子 | 春日部市PTA連合会 | 1号委員 | |
| 会長 | 作山 康 | 芝浦工業大学 | 2号委員 | |
| 副会長 | 木暮 昭彦 | 公益財団法人 水道技術研究センター | 2号委員 | |
| 委員 | 石坂 誠 | 埼玉県庄和浄水場 | 2号委員 | 令和6年度 |
| | 野口 清隆 | | | 令和7年度 |
| 委員 | 臼井 俊英 | 臼井俊英税理士事務所 | 2号委員 | |
| 委員 | 下田 正樹 | 下田建設行政事務所 | 2号委員 | |
| 委員 | 藤田 英典 | 庄和商工会 | 2号委員 | |
| 委員 | 吉田 剛 | 春日部商工会議所 | 2号委員 | |

(会長と副会長を除く他、各号委員は50音順)

1号委員：水道使用者

2号委員：知識及び経験を有する者

参考2. 答申に至る審議過程

| 開催回 | 開催日時 | 審議内容等 |
|--------------|------------|---|
| 令和6年度 第1回 | 令和7年3月25日 | <ul style="list-style-type: none"> ・春日部市水道事業運営審議会委員の委嘱 ・会長、副会長の選出 ・春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）等の改定について（諮問） （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 春日部市水道事業の概要について 2. 春日部市水道事業の経営状況について 3. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定について |
| 令和7年度 第1回 | 令和7年5月22日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 春日部市水道事業について 2. 水道料金の仕組みについて |
| 令和7年度 第2回 | 令和7年6月30日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の補足説明について 2. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定の概要について |
| 令和7年度 第3回 | 令和7年10月8日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定（案）の概要 2. 一般的な料金算定（改定）の流れ |
| 令和7年度 第4回 | 令和7年10月31日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 投資及び財政計画のシミュレーション結果について 2. 近隣事業体の動向等について 3. 料金体系設定の基礎事項について |
| 令和7年度 第5回 | 令和7年11月19日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定（案）について 2. 投資及び財政計画のシミュレーション結果について |
| 令和7年度 第6回 | 令和7年12月17日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 投資及び財政計画のシミュレーション結果について 2. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）等の改定について（答申書素案） |
| 令和7年度 第7回 | 令和8年1月30日 | （議題） <ol style="list-style-type: none"> 1. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）改定版の決定について 2. 春日部市新水道事業ビジョン（経営戦略）等の改定について（答申書案） |

・令和8年 月 日、春日部市長へ答申書の提出